

人間社会科学専攻 履修モデル [2022年度以降入学用]

A. 臨床心理士受験資格取得者を養成する(臨床心理学分野)  
(必要最低単位の例)

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				4
		論文作成・プレゼンテーション技法	2	後				
研究分野	基礎	心理学研究法特論	2	前				2
		臨床心理学特論1	2	前	臨床心理実習1(心理実践実習Ⅲ)	1	前	24
	臨床心理学特論2	2	後	臨床心理実習2	1	後		
	臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	2	前	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	前		
	臨床心理面接特論2	2	後	心理科学(発達)Ⅰ	2	前		
	臨床心理査定演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	前	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	後		
	臨床心理査定演習2	2	後					
	臨床心理基礎実習1	1	前					
	臨床心理基礎実習2	1	後					
家族・地域社会心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	集中						
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習Ⅰ	1	前	2
					論文指導演習Ⅱ	1	後	
単位数		22			10			32

(財)日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士の受験資格を取得するためには、認定協会指定の必修科目16単位、認定協会指定の選択必修科目A群～E群の5群より各2単位以上計10単位、合計26単位以上取得していることが条件となる。上記モデルは、受験資格取得に必要な最低単位数を示している。

実際には、将来臨床心理学のどのような領域に進みたいか、臨床心理学の中でどのような研究を進めたいかによって、選択科目からあと数科目以上選択することが望ましい。また、隔年開講の科目については、上記モデルにおける年次(1年もしくは2年)とは関係なく、開講されている年度に履修すること。

B. 公認心理師および臨床心理士受験資格取得者を養成する(臨床心理学分野)  
(必要最低単位の例)

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				4
		論文作成・プレゼンテーション技法	2	後				
研究分野	基礎	心理学研究法特論	2	前				2
		臨床心理学特論1	2	前	臨床心理実習1(心理実践実習Ⅲ)	1	前	36
	臨床心理学特論2	2	後	臨床心理実習2	1	後		
	臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	2	前	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	前		
	臨床心理面接特論2	2	後	心理科学(発達) I	2	前		
	臨床心理査定演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	前	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	後		
	臨床心理査定演習2	2	後	産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	後		
	臨床心理基礎実習1	1	前					
	臨床心理基礎実習2	1	後					
	心理実践実習 I	1	前					
	心理実践実習 II	1	後					
	家族・地域社会心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	集中					
	障害者・障害児心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	後					
	犯罪・非行心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	集中					
心の健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2	集中						
臨床心理地域援助特論	2	前						
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習 I	1	前	2
					論文指導演習 II	1	後	
単位数		32			12			44

公認心理師の受験資格を取得するためには、法令で定められた10種類の科目の取得が必要である(単位数は定められていないが、実習科目について時間数の下限が規定されている)。

(財)日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士の受験資格を取得するためには、認定協会指定の必修科目16単位、認定協会指定の選択必修科目A群～E群の5群より各2単位以上計10単位、合計26単位以上取得していることが条件となる。ただし、E群の科目のなかで公認心理師受験資格に必要な科目に読み替え可能なもの(本学では「学校臨床心理学特論」のみが該当)は、臨床心理士受験資格もしくは公認心理師受験資格のいずれか一方でしか必要な科目として認定されない。上記モデルは、公認心理師と臨床心理士双方の受験資格取得に必要な最低単位数を示している。

実際には、将来臨床心理学のどのような領域に進みたいか、臨床心理学の中でどのような研究を進めたいかによって、選択科目からあと数科目以上選択することが望ましい。また、隔年開講の科目については、上記モデルにおける年次(1年もしくは2年)とは関係なく、開講されている年度に履修すること。

C. 心理学の研究者(博士後期課程進学者)を養成する(心理・コミュニケーション科学分野)

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				6
		国際コミュニケーションワークショップ	2	前後				
		論文作成・プレゼンテーション技法	2	後				
研究分野	専門	心理・コミュニケーション科学基礎論	2	前				2
		心理科学(感覚知覚)I	2	前	心理科学(発達) I	2	前	22
		心理科学(感覚知覚)II	2	後	心理科学(文化) I	2	前後	
		心理科学(認知)I	2	前	コミュニケーション科学(電子メディア) I	2	前後	
		心理科学(認知)II	2	後	コミュニケーション科学(ヒューマン・コンピュータ・インタラクション) I	2	前	
		心理科学(社会) I	2	前				
		心理・コミュニケーション科学特論B	2	後				
共生社会基礎研究(多変量解析)	2	後						
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習 I	1	前後	2
					論文指導演習 II	1	後	
単位数		22			10			32

D. マーケット・リサーチ、世論調査などの調査関係の専門家を養成する  
(心理・コミュニケーション科学分野)

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				6
		国際コミュニケーションワークショップ	2	前後				
		論文作成・プレゼンテーション技法	2	後				
研究分野	専門	心理・コミュニケーション科学基礎論	2	前				2
		心理科学(社会)I	2	前	コミュニケーション科学(メディア)I	2	前後	20
		心理科学(社会)II	2	後	コミュニケーション科学(メディア)II	2	前後	
		コミュニケーション科学(広告)I	2	前	共生経済基礎研究(マイクロ経済学)	2	前後	
		コミュニケーション科学(広告)II	2	後	グローバルジェンダー研究(コミュニケーション)	2	前	
		コミュニケーション科学(電子メディア) I	2	前				
		コミュニケーション科学(電子メディア) II	2	後				
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習 I	1	前後	
					論文指導演習 II	1	後	
単位数		20			10			30

E. 広報や商品開発における情報アクセシビリティ、ユニバーサルデザイン関係の専門家を養成する（心理・コミュニケーション科学分野）

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				6
		国際コミュニケーションワークショップ	2	前				
		論文作成・プレゼンテーション技法	2	後				
研究分野	専門	心理・コミュニケーション科学基礎論	2	前				2
		心理科学(感覚知覚)I	2	前	障害者・障害児心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	前	20
		心理科学(感覚知覚)II	2	後	老年心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	後	
		コミュニケーション科学(メディア)II	2	後	コミュニケーション科学(電子メディア) I	2	前	
		コミュニケーション科学(広告)II	2	後	コミュニケーション科学(電子メディア) II	2	後	
		コミュニケーション科学(ヒューマン・コンピュータ・インタラクション) I	2	前				
		コミュニケーション科学(ヒューマン・コンピュータ・インタラクション) II	2	後				
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習 I	1	前	
					論文指導演習 II	1	後	
単位数		20			10			30

F. 専門社会調査士資格を持った自治体職員を養成する(グローバル共生社会分野)

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				4
		論文作成・プレゼンテーション技法	2	後				
研究分野	基礎	グローバル共生社会論	2	後	グローバル社会基礎研究(国際法)	2	集中	16
		グローバルジェンダー分析	2	前				
		共生経済基礎研究(ミクロ経済学)	2	前				
		共生経済基礎研究(マクロ経済学)	2	後				
		共生社会基礎研究(社会学原論)	2	前				
		共生社会基礎研究(質的調査)	2	前				
研究分野	専門	グローバルジェンダー研究(社会福祉)	2	前	共生経済研究(公共政策論)	2	後	8
		グローバルジェンダー研究(仕事と家族)	2	後	グローバルジェンダー研究(コミュニケーション)	2	前	
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習 I	1	前	2
					論文指導演習 II	1	後	
単位数		20			10			30

G. 調査・統計分析力、共生・ジェンダーの視点を持った国際機関/NGO職員を養成する  
(グローバル共生社会分野)

科目区分		1年			2年			単位数 合計
		科目名	単位	学期	科目名	単位	学期	
共通	基礎	人間社会科学基礎論	2	前				4
		国際コミュニケーションワークショップ	2	前				
研究分野	基礎	グローバル共生社会論	2	後	グローバル社会基礎研究(国際法)	2	集中	12
		グローバルジェンダー分析	2	前				
		グローバル社会基礎研究(国際関係論) I	2	前				
		グローバル社会基礎研究(国際機構論)	2	後				
		共生経済基礎研究(社会統計学)	2	後				
		平和共生研究(多文化共生論)	2	前	平和共生研究(平和教育学)	2	前	
共生経済研究(開発経済学)	2	前	共生経済研究(国際金融論)	2	前			
共生社会拠点実習	2	通	グローバルジェンダー研究(開発と平和構築)	2	前			
共通	専門	(研究指導)			論文指導演習 I	1	前	2
					論文指導演習 II	1	後	
単位数		20			10			30